

提案の補足説明資料

【 商工会まちづくり委員会 】

I 緑系（緑・水・環境・自然・オープンスペース系）の施設・機能		
1	イベント・交流の市民広場	SICの主役は市民、他地域との交流機能、子供が自由に遊べる空間
2	水・緑のシンボルゲート公園	「綾」をシンボルとした親水公園・噴水広場、音のある町
3	防災機能公園	広域避難場所、備蓄機能、広域防災機能
4	緑地や豊かな植栽	緩衝緑地、四季（桜・ピースバラ・ヤマモミジ等）の植栽

1 イベント・交流の市民広場

大きなイベントや多様な交流機能を備えた広場を設置する。安全・安心な空間で子供たちが自由に遊べる空間を確保する。

2 水・緑のシンボルゲート公園（親水公園と噴水計画）

地下水を利用したシンボリックな親水公園を設置し、市民の寄付金の受け皿となる「(仮称)ローズインター基金」を設け、「官民協働」のインターのシンボルとする。

- ・井戸の掘削 親水公園の設置
- ・噴水の整備（30m程度の噴水を定時（1回/H）に上げる）

3 防災機能公園

大規模災害時に対応する広域避難場所、備蓄機能、広域防災機能を備えた公園を設置する。

- ・神奈川県防災機能を備えた施設（災害用備蓄倉庫など） 見学や体験が出来る施設

4 緑地や豊かな植栽

インターの周辺を 桜、ピースバラ、ヤマモミジ等の植栽で「四季」を楽しめるエリアにする。

II 工業・産業系の施設・機能		
5	倉庫等物流施設	倉庫、大型物流施設
6	展示・研究研修・支援サービス	工業製品の展示・研究開発等機能・支援サービス機能
7	先端産業企業誘致	ロボット産業・環境産業・医療（再生）・農業（野菜工場）
8	綾瀬版IoT企業誘致	あらゆるモノがインターネットを通じて接続

5 倉庫等の物流施設

- ・神奈川県・綾瀬市の都市計画の方針に「集約」が記載されている。
- ・優良な住宅地と近接する綾瀬インターにとってふさわしい機能か。
- ・厚木IC南部、秦野中井IC周辺のようなイメージに、綾瀬市の中心市街地をするか。
- ・綾瀬インターチェンジ建設推進協議会は、新設増設に反対している。

6 展示・研究研修・支援サービス

市内既存の企業が成長し、営業・業務活動に有効な機能とは何か。

- ・工業製品の展示場や研究開発型の機能・施設の誘致。また、長期企業研修施設や支援する機能。

7 先端産業企業誘致

どのような視点で企業誘致をするか。(誘導型の地区計画の設定)

- ・ロボット産業・環境産業・農業（野菜工場）など。
- ・医療（再生）や健康志向の業態など。

8 綾瀬版IoT企業誘致（未来型企業誘致）

東京と直結する位置の有利さを発揮できる新しい業態を考えたかどうか。

Ⅲ 商業・業務系の施設・機能		
9	風営法規制施設	パチンコ店、モーテル
1 0	シティホテル・ビジネスホテル	宿泊+コンベンション（大会・会議・集会・催し等）機能付き
1 1	オフィス業務ビル	オフィス支援サービス機能含む
1 2	店舗・飲食施設、娯楽施設	飲食店、消費財商業施設など賑わいのある施設、カラオケボックスなど
1 3	道の駅・直売所・体験農業	地産地消店舗・地場産加工品・地元畜産PR、体験型農業施設

9 風営法規制施設

- ・都市計画上は、ぱちんこ店、モーテル等の設置も可能。
- ・綾瀬インターチェンジ建設推進協議会は、パチンコ店、モーテル等の設置規制を求

めている。

10 シティホテル・ビジネスホテル

宿泊だけでなく、コンベンション（大会・会議・集会・催し等）機能付きの誘致を図る。

11 オフィス業務ビル

高速バス（綾瀬バス停ー東京駅 57分、770円）利用で、地理的条件から、オフィスビル、業務ビルの経済性が成立するのではないか。

12 店舗・飲食施設、娯楽施設

飲食店、消費財商業施設など賑わいのある施設が成立するのではないか。

また、広域な視点から娯楽施設の誘致が可能ではないか。

13 道の駅・直売所・体験農業

綾瀬市内の農畜産物や加工品の販売所を設置する。

- ・地域振興施設（道の駅のような施設）を市役所が検討中。
- ・広大な農地を「体験型農業」などに利用することも可能ではないか。

IV 交通系の施設・機能		
1 4	高速バス・リムジンバス運 行	市役所・インターが都心（東京駅）と直結する仕組み、コミバス駅まで延長
1 5	パーク&バスライド	市民の駐車場と路線高速バスとの乗継場
1 6	ローズインター（S I Cパ ーク）	緑の中にインターがあるイメージ、官民協働の取組み

14 高速バス・リムジンバス運行

現在運航している高速バスの他に、「綾瀬市役所 — 東名綾瀬バス停 — 東京駅」を直接結ぶ高速バスを新設する。現在の57分を短縮し、時間的優位性を高めることが可能。また、コミュニティバスを、全て湘南台駅などの駅に直結し、市の中心部に集まる人を増加させる。

15 パーク&バスライド

綾瀬市が設置に向け計画中。市民の駐車場と路線高速バスとの乗継場

16 ローズインター（S I Cパーク）

緑の中にインターがあるイメージ。他にはないインター全体に「市の花・バラ」をイメージした取組みを行う。

また、行政と、経済・市民団体が計画段階から設置を要望してきた取組みを様々な形で継続していく。

V その他の施設・機能		
1 7	広域医療施設	総合病院、広域救急医療対応、「未病」の取組み
1 8	文化芸術・交流施設	基地の存在を通して平和ミュージアム・外国人との交流施設
1 9	ゲート機能施設	市のインフォメーション・PRセンター、綾瀬市案内施設
2 0	観光施設	見学・飲食・ショップがあるビール工場誘致など
2 1	健康ライフスタイル提案型 施設	フィットネス（健康増進）、ヘルススパ（温泉・療養）など

17 広域医療施設

総合病院の誘致（国等の機関、大学付属病院） 神奈川県未病の関連施設

・病院が持つ多様な機能は雇用と幅広いサービスなどの経済効果が高い。それらは、市の多様性を高めることによって、将来にインパクトと魅力を生み出すことができる。

18 文化芸術・交流施設

綾瀬市は、厚木基地が約70年にわたって存在してきた歴史を踏まえ、国や神奈川県の

「歴史と平和」をテーマとした博物館を誘致する。

また、市内在住の外国人が多い特徴を生かした施策も展開できるのではないか。

- ・基地の歴史をとおして平和ミュージアム
- ・外国人との交流施設

19 ゲート機能施設

観光協会の機能や、外来者に対する案内センター。

休憩施設の機能も併設し、周辺の公園・緑地を散策しながら綾瀬市の「ゲート」機能を設置する休憩施設に公共駐車場も検討すべき。

20 観光施設

観光地である江の島に直結する場所を活かし、観光客に向けた施設を誘致する。また、シンボル性のある市民が楽しむことのできる施設の検討も必要である。

- ・見学・飲食・ショップがあるビール工場誘致など

21 健康ライフスタイル提案型施設

長寿社会がますます進展する中で健康を志向、サポート、増進する機能や施設を誘致する。

- ・フィットネス（健康増進）、ヘルススパ（温泉・療養）、軽スポーツなどの機能や施設

設

2 2	環境共生型の街	「環境都市宣言」をインター本体と周辺地域全体に活かす
2 3	交通利便性の高い街	インターを活用した交通利便性の向上
2 4	安全・安心の街	交通環境悪化への対応、弱者・子供の安全と安心確保
2 5	産業等活力のある元気な街	工業系土地利用による工場誘致や既存産業の拡充、発展の支援
2 6	美しく、市民が楽しむ街	街の美しさ、市民が楽しめる機能、ほこりを持てる街
2 7	子育てしやすい街	子供が自由に楽しめる空間、子供が安心して楽しめる空間

22 環境共生型の街

神奈川県総合計画では、「環境共生都市」に位置付けられており、「環境都市宣言」をインター本体も含め、インター周辺地域全体を環境に配慮し、良好な環境を保全推進する街を目標に掲げ、あらゆる取り組みの基礎的思想にする。

23 交通利便性の高い街

鉄道駅のない街から、インターを活用した交通利便性の向上に取り組み、公共交通機関の利用によって利便性の向上を目指す。

24 安全・安心の街

インター開設によって懸念される交通環境の悪化への総合的な対応策を講じ、高齢者、

弱者・子供達の安全と安心を確保する。周辺住宅地への通過交通や大型トラックはすでに増加傾向にあり、継続的に市民の安全を図る。神奈川県や関係機関と連携し、事故のない安全で安心して暮らせる街を市民も考えていく。

25 産業等活力のある元気な街

工業系土地利用による工場誘致や既存産業の拡充、発展の支援を進め、産業活動が活発化し、働く場が多く元気で活力ある街を目指す。

26 美しく、市民が楽しむ街

従来の子の携帯が大きく変革するポテンシャルが生まれることから、「街の美しさ」、「市民が街を楽しむ」、「誇りある」街に変換するための機能を優先的に考えていく。

27 子育てしやすい街

子供達が自由に楽しめる空間、親子で安心して楽しめる空間や機能を大切に、増やしていく街づくりを進める。

【 資料参考 】

平成 28 年 3 月 6 日開催一綾瀬インターチェンジ建設推進協議会 「まちづくりフォーラム」発表内容
「安全・安心・元気で・美しいまちづくりの提案」
～首都近郊の工業と住宅都市から多様性を持つ新しい「街」への歴史的変換へ向けて～

1 歴史的視点

- ★ 約 75 年前、厚木基地の開設（中心性・自立性の喪失。自己決定権の薄い、成功体験の薄い町へ）
- ★ 人口急増、自動車関企業、京浜工業地帯からの移転企業等の進出（計画性・先見性の低さ、スプロール開発、住工混在、狭隘道路、都市計画のあいまいさ、交通ネットワークの低さ、義務教育等への投資）
- ☆ インターチェンジの開設 ⇒ 自立性の高い、多機能、多様性を持つ街への転換を図る必要がある。
- ☆ 従来の工業系土地利用では、既存企業も潤わない。研究開発型、製品の拡販に役立つ施設など経済活動支援機能が必要ではないか。また、環境系・医療系企業など将来成長が望める業態の企

業を誘致する。また、視点を変えて観光、総合病院、防災公園などを誘致・設置する。

☆ 市民の豊かさ、楽しむ、物から人へ、心の豊かな町への転換

2 新しい街のコンセプト

- ◆ 第4・5・6次産業の展開、新産業の創造、ソフト志向、NPO等の進出（元気な街づくり）
- ◆ 市民の富の創造（健康的、安らぎ、文化性、安全性などの仕組みづくり）
- ◆ 新しいライフスタイル（働く場、楽しむ場、多様な消費財の供給、文化的資源の創造、街の美しさ）

さ)

3 新・創造空間への提案

(1) 主要な概念

◇エリア：インターチェンジ周辺を含む中心市街地（市役所周辺の空閑地を含む）

※「安全・安心・元気で・美しい都市」のコンセプト

- ◆「かん」 環境、観光、人・間・輪（ネットワーク）、
平和（戦後の平和日本のスタート・マッカーサー
- ◆「のう」 農業、脳・能力（智）、芸能（文化）
- ◆「び」 病院（健康）、美しさ（瀬音、地下水）歴史性（マンモスの時代に定住地があっ

た）

※ 人・物・情報の交流 → 賑わいの創造 → 市民力の向上を図ることができる。

(2) 活用する素材や自然

かわせみ、オオタカ、鮎、ヒメスバラ、古代の水（地下水）

(3) つなぐもの

「協働の力」・・・自治会、市民活動団体、趣味やボランティア団体、商工会、農協組織等

の

ネットワークが存在し、継続し、発展している。

4 取組み方法の提案

- (1) 賃貸型都市経営・・・自由性、可変性、共同土地利用型
「タウンヒルズの底地共同経営方式」任意組合による官民協働型まちづくり
- (2) 官民協働のまちづくり・・・情報開示、市民意見の反映、進行状態のチェック
現在の市政運営とは異なり計画段階から市民の意見を取り入れる。
- (3) 都市再生事業の取組み・・・国庫補助採択事業、国・県の支援、広域交通網の取組み
国・県やまちづくり専門家等の支援を得て、計画策定から実施まで取組む

5 具体的な誘致施設等

- (1) 安全・安心・・・ 救急・総合病院の誘致、防災公園の設置、
建設推進協議会提案（交通安全策、緑地、大型倉庫の規制等）の実現
- (2) 元気・・・ 研究開発型企业（環境系、農業系等）、大学等の誘致、商工会館の建設
ホテル・コンベンション機能の誘致（消防庁舎跡地）
鉄道等の広域交通網の取組み（田園都市線の延伸）
- (3) 美しさ・・・ 平和ミュージアムの誘致、瀬音ミュージアム（音のある街）、